



大津小学校でサケの稚魚放流



4月19日、大津小学校6名と大津保育所5名の児童たちがサケの稚魚を十勝川へ放流しました。今年の1月から大津小学校内で大切に卵から育てられ、放流できる大きさにまで成長しました。そのサケの稚魚を、教員らが同校近くにある十勝川まで児童たちとともに協力しながらバケツで運びました。当日は風が冷たかったものの春の陽気が感じられるなか、橋本校長から「水槽の中で大きくなってきたのを見てきました。いよいよ春が来てサケとお別れの日です。元気に帰っておいでね、と優しく声をかけてお別れしてください」と児童らへ稚魚を放流する際の注意事項とともに話がありました。それから児童を代表して、4年生の齋藤大斗くんが「卵から育てたので、お別れが少し寂しい気持ちですが、3年から4年後にサケが大きくなって、大津に帰ってくることを願って放流しましょう」とあいさつしました。児童たちは5cmほどに成長したバケツの中の稚魚をコップでいねいにすくい上げ、「帰ってきてね」「元気でね」と、思い思いの言葉を優しくかけながら川へと放流しました。



入学 入所 おめでとうございます

広報とよころ

議会だより

役場だより

広報とよころ

議会だより

役場だより

第23回豊頃地域コミセンまつり



4月8日、豊頃地域コミュニティセンターで、豊頃地域づくり協議会（相澤和幸会長）主催の「豊頃地域コミセンまつり」が開催されました。毎年多くの方が楽しみにしている行事のひとつで、午前中は個人・行政区対抗の輪投げ大会、午後からは池田警察署員を中心とした特殊詐欺啓発の寸劇やカラオケ等が行われました。ホールではパッチワークやドライフラワーなどの販売や、毎年恒例のビンゴ大会など、訪れた皆さんは楽しいひと時を過ごしました。



豊寿大学入学・開講式



4月23日、豊寿大学入学・開講式がえる夢館はるにれホールで開催されました。今年度から新しく「歴史科」が開講され、新たな学習の場が提供されます。このことにより文学科や手芸科など、長く続く教科を含め選択教科が全9学科となり、豊寿大学長である山本教育長が新しい学科が増えたことをふまえ、「新しいことを始めるチャレンジの場として色んなことに取り組んでほしい。また、学びの場から仲間を増やし、これからの町づくりに活かしてほしい」と挨拶しました。今年の入学生は7名（入学式では1名欠席）で、入学式では少し緊張した面持ちでしたが、これからの学習の場を楽しみにしている様子でした。

